

京都新聞

植民地支配解放を祝う

左京で「光復節」在日韓国人500人

日本の植民地支配からの解放を祝う在日大韓民国民団京都府本部の記念式典「光復節」

が15日、京都市左京区の京都会館で開かれた。66回目を迎え、参加者は独立のために亡

くなった祖先をしのんだ。府内の在日韓国人500人が参加した。王



「光復節」の記念式典で決議文を声をそろえて読み上げる参加者たち(京都市左京区・京都会館)

清一団長(70)はあいさつで苦難の歴史を振り返る一方、国内の民団組織が弱体化しているとして「手を取り合い、活性化を図るべき」と呼び掛けた。

式典では、来年から在日韓国人も投票できるようになる韓国の大統領と国会議員の選挙への参加や、次世代を担う青少年層の育成などを誓う決議文を採択し、参加者が声をそろえて読み上げた。式典後には、在日韓国人の歌手や演奏家が出演する祝賀行事があった。

(樺山聡)

発行所 〒604-8577 京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.
© 京都新聞社 2011年

http://kyoto-np.jp/
番号案内・受付 075(241)5430
読者応答室 075(241)5421
ご購入・配達は 0120-464-468